

# 石田 やすひろ

宮前ガバナンス・2023



人・緑・夢を

つなげる街づくり!

川崎市議会では市民生活に直結した、身近な議論を行っています。そうしたタイムリーな情報を、市民の皆様にお伝えしようと、これまで積極的に広報活動に取り組んできました。私は「開かれた議会」をキーワードに、様々な議会改革にも挑戦してきました。

アカウンタビリティー（説明責任）を果すべく、広報紙「宮前ガバナンス」を発行したり、タウンニュースの紙面に定期的な寄稿し、情報発信してきました。引き続き、市民の皆様の声を市政につなげるとともに、旬な議会情報を広く、皆様に届くよう、努めて参ります。

## 私の約束

1、行政にある無駄を徹底的に排除し、効率化を図ります。

・行財政改革第3期プログラム（令和4年度から）を支持し、4年間で100億円の財政効果額を目指します。

2、子育て支援策の充実を目指します。

・拠点となる「宮前区保育・子育て総合支援センター」を新設し、子育ての支援体制を充実させます。

・通学路の交通安全対策を徹底します。

・子どもの命を守る小児医療費助成の、段階的な拡充を目指します。

3、高齢者施策の拡充を目指します。

・老人いこいの家（区内5箇所）の機能を充実させます。

・在宅介護のための生活支援を推進します。

・認知症対策を充実します。

4、安全・安心なまちづくりを目指します。

・首都直下型地震等、大規模災害に備えた「防災力」を強化します。

・地域医療の充実と救急医療体制を強化します。



## プロフィール

現在6期、元川崎市議会議員、市立犬蔵中学校卒業、明治大学公共政策大学院卒業、現在、川崎市議会スポーツ振興議員連盟会長、川崎の都市農業を推進する会会長

## ホームページ



## 政務活動事務所

石田やすひろ事務所  
〒216-0035  
住所 川崎市宮前区馬絹6-24-26  
TEL 044-861-6870  
FAX 044-854-0798  
mail: miyamae@ishidayasuhiro.com

# 宮前ガバナンス2019

## 4年前の公約を検証！ → 2023へ



**石田やすひろ**

夢が未来をつくれます

**宮前ガバナンス2019**

1. 行政にある無駄を徹底的に排除し、効率化を図ります。 - 行財政改革第2期プログラム(平成30年度から)を支持し、4年間で100億円の財政効果額を目指します。	3. 高齢者施策の拡充を目指します。 - 特別養護老人ホームを4年間で6箇所700床の整備を目指します。 - 老人に優しい家の建設を促進します。 - 在宅介護のための生活支援を推進します。
2. 子育て支援策の充実を目指します。 - 早期の交通支度費を削減します。 - 子どもの命を守る小児医療費助成の、段階的な拡充を目指します。	4. 安全・安心なまちづくりを目指します。 - 首都直下型地震等、大規模災害に備えた「防災力」を強化します。 - 地域医療の充実と救急医療体制を強化します。

### 1、行政にある無駄を徹底的に排除し、効率化を図ります。

・行財政改革第2期プログラム（平成30年度から）を支持し、4年間で100億円の財政効果額を目指します。

**結果**→第2期プログラム期間で184億円の財政効果を達成しました。引き続き、第3期プログラムにて改革を推進します。

### 2、子育て支援策の充実を目指します。

・通学路の交通安全対策を徹底します。

**結果**→本市の通学路における危険な交通安全対策必要箇所は、宮前区で27箇所ありました。また「川崎市通学路交通安全プログラム」に基づくPTA等から出された改善要望箇所は、28箇所です。その内、ハード面の対策必要箇所数は15箇所あり13箇所の改善は終了しました。残りは2箇所あり、梶が谷金山交差点と市道宮前6号線の改良を進めます。

・子供の命を守る小児医療費助成の、段階的な拡充を目指します。

**結果**→川崎市は、通院時の小児医療費助成の拡充について、令和5度中に対象を現行の小学校6年生までから中学校3年生までに引き上げ、所得制限を撤廃する方向性を示しました。

### 3、高齢者施策の拡充を目指します。

・特別養護老人ホームを4年間で

6箇所700床の整備を目指します。

**結果**→4年間で4箇所、508床、整備されました。議会では、未利用の国有地を特別養護老人ホームの設置へとつなげました。これからは、地域包括ケアシステムにより、「施設・病院」から「地域・在宅」へのケアの場を移行します。在宅介護のための生活支援を推進します。

### 4、安全・安心なまちづくりを目指します。

・首都直下型地震等、大規模災害に備えた

「防災力」を強化します。

**結果**→議会では、ライフラインの強靱化を求めました。特に、大規模災害時の水の確保は重要です。応急給水拠点の強化を求め議会質問しました。水道管路の耐震化率をあげるよう求めました。令和3年度末で、重要な管路は、対象延長784キロに対して耐震化率は96.2%となっています。その他、大規模災害に備えた消防団員の確保策や、防火対策を議論しました。

・地域医療の充実と救急医療体制を強化します。

**結果**→川崎市議会でAIを活用した救急隊の現場到着時間の短縮について取り上げました。AIを活用して集中する救急需要を予測し、救急車の適正配置を目指しています。ニーズのあるエリアを予測し、救急車の配置を厚くする事で、現場到着時間の短縮を図ります。AIの本格導入を目指します。

